MG MASTER GRADE GUNDAM SEED

オーブ連合首長国 高機動中近距離戦用モビルスーツ
**MBF-02+EW454F**
**ストライクルージュ オオトリ装備 Ver.RM**
**1/100スケール マスターグレードモデル**



## COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をお勧めます。
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

### ストライクルージュ

- **本体等　ライトピンク部**
  ホワイト(100%)+ピンク(少量)+イエロー(少量)
- **足部　ピンク部**
  ピンク(60%)+ホワイト(30%)+すみれ色(10%)
- **胸等　レッド部**
  あずき色(60%)+ワインレッド(20%)+ホワイト(15%)+ブルー(5%)
- **メインカメラセンサー等 クリアグリーン部**
  クリアグリーン(50%)+クリア(30%)+クリアイエロー(20%)

### オオトリ装備

- **本体等　ホワイト部**
  ホワイト(100%)+ネービーブルー(少量)
- **本体等　ブラック部**
  ブラック(100%)+ホワイト(少量)
- **キャノピー等　ライトグレー部**
  グレー(70%)+ホワイト(30%)+ピンク(少量)
- **ミサイルポッド、ランチャー等 グレー部**
  グレー(80%)+ブラック(20%)
- **大型対艦刀等　ライトブルー部**
  ホワイト(70%)+ピンク(20%)+インディブルー(10%)
- **ミサイル等　イエロー部**
  イエロー(60%)+ホワイト(30%)+オレンジ(10%)

### カガリ・ユラ・アスハ (ノーマルスーツVer.)

- **顔　肌部**
  ホワイト(65%)+薄茶色(30%)+ピンク(5%)
- **スーツ等　レッド部**
  シャインレッド(70%)+ホワイト(30%)
- **胸、肩等　ホワイト部**
  ホワイト(100%)
- **ヘルメット　オレンジ部**
  オレンジイエロー(100%)
- **バックパック　グレー部**
  グレー(80%)+ブラック(20%)
- **髪　イエロー部**
  ホワイト(75%)+イエロー(15%)+薄茶色(10%)

### ワンポイントステップ
One point

ガンダムマーカー / スミ入れ用（別売り）などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



BEFORE　AFTER



カガリ・ユラ・アスハ

©創通・サンライズ
機動戦士ガンダムSEED DESTINY
GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト▶www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

# MBF-02+EW454F STRIKE ROUGE+OOTORI

MG MASTER GRADE GUNDAM SEED

オーブ連合首長国 高機動中近距離戦用モビルスーツ
**MBF-02+EW454F**
**ストライクルージュ オオトリ装備 Ver.RM**
**1/100スケールマスターグレードモデル**

BANDAI 2013 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は塗装してあります。※画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。

0184475

BANDAI

## オーブ軍によるストライクルージュの開発とストライクとの相違点

MBF-02 ストライクルージュは、オーブ国防軍のために同国のモルゲンレーテ社が開発したMSだ。その構造は、地球連合軍のMS、GAT-X105 ストライクをほぼ完全にコピーしたものである。オリジナルとなったストライクとの最大の相違点は、長時間の運用を可能とするために新世代のパワーパック強化システム「パワーエクステンダー」が搭載されたことと、パイロットを支援する高性能AI(人工知能)の搭載である。



◀第2次ヤキン・ドゥーエ攻防戦で大ダメージを負ったストライクルージュ。機体はオーブへと運ばれ、修復が進められた。



▶C.E.73、修復を終えたストライクルージュ。オオトリの他にもI.W.S.P.を装備するケースもあった。



■MBF-02+EW454F
ストライクルージュ
オオトリ装備

## 長時間の運用を可能としたシステムと、パイロット支援AIの搭載

オーブ国防軍の意向を受け、モルゲンレーテ社は独自の主力モビルスーツとしてMBF-M1 M1アストレイを開発した。M1アストレイの開発に際してはストライクの技術の多くが転用された。M1アストレイは機動性を重視した軽量級の機体であったが、その反面、火力、耐久性においては同時代のモビルスーツと同等かそれ以下と評価された。そこでモルゲンレーテの技術陣はストライクをベースに、最大の弱点であった運用時間の制約を改善するため高出力パワーパック「パワーエクステンダー」を搭載した独自の多目的ストライカーパックを採用した機体をストライクルージュとして開発。さらにコーディネイターのパイロット、キラ・ヤマトが調整したOSを元に人工知能による新たなパイロット支援システムを搭載した。



エリカ・シモンズ
モルゲンレーテ社の技術者で、コーディネイター。MBF-M1 M1アストレイの開発に携わった。後にクライン派に参加する。



▼キラ・ヤマトの助けなどもあり、ナチュラル用OSの開発に成功する。



◀中破したGAT-X105 ストライクガンダムは、モルゲンレーテ社に回収され、再建された。その際の予備パーツを用いて、ストライクルージュが開発された。

## 低コストでの万能機を実現したストライカーパックの再現

EW454Fオオトリは、地球連合軍のモビルスーツGAT-X105 ストライクシリーズの規格に合わせて開発された多目的ストライカーパックである。ストライクシリーズは本来、シンプルなモビルスーツと単機能に特化したストライカーパックとを組み合わせることで、低コストであらゆる戦況に対応可能な万能機を実現することにあった。しかし実戦におけるストライクのデータ解析から連合軍は、万能型ストライカーパックの必要性を再認識する。こうして誕生したのがオオトリである。



ORB-01 アカツキ
(オオワシ装備)
オーブ軍のアカツキは、大気圏内用のオオワシと宇宙用のシラヌイを装備可能。特に大気圏内用のオオワシはストライクルージュ用のオオトリと同様のコンセプトで開発されたようだ。



EW454F オオトリ
ストライクルージュ用として開発された多目的オプション。ビームランチャーや大型対艦刀を装備するほか、高度な空力性能によって装備した機体に高い機動性を付与する。

## STORY GUIDE (ストーリーガイド)

### 2度の戦乱をくぐり抜けたストライクルージュの戦い

C.E.70から71にかけて行われた第1次連合・プラント大戦の終盤、ストライクルージュは戦場にその姿を現した。最終決戦で中破した機体は、わずかな休息の時を迎えることとなる。そして、C.E.73、連合とプラントの間で勃発した二度目の戦乱において、ストライクルージュは「オオトリ」という新たな装備を得て、再び戦場へと舞い戻るのであった。





▲連合とプラントの戦乱はオーブにも影響を及ぼした。ストライクルージュは祖国を戦火から守るため、再び戦場に立った。

◀オーブでの戦闘ではアークエンジェルとフリーダムガンダムと共闘。オーブを危機から救うのだった。

## PILOT (パイロット)

### ■カガリ・ユラ・アスハ

ストライクルージュのパイロットは、オーブのカガリ・ユラ・アスハが務めた。それは、C.E.73の戦乱でも同じだった。カガリがアカツキに搭乗して以降、キラ・ヤマトがストライクルージュを使用した。しかし、それは宇宙へと戻るためであり、彼の搭乗時には機体色もストライクガンダムのそれに戻っている。





◀C.E.70の戦乱からストライクルージュのパイロットを務めたカガリ。後にパイロットではなく指導者として戦場に立つこととなる。

▶キラは宇宙への帰還にストライクルージュを使用した。ブースターを用いて宇宙へと到達したが、その直後の戦闘で機体は中破している。

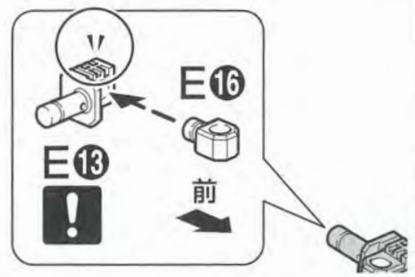




# 組み立て前の基本説明

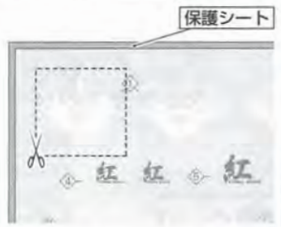
## 部品の向きに注意してください

※組み立て図中に"V"のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。




## ガンダムデカールの貼りかた

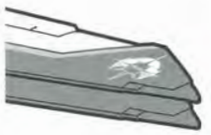
❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。





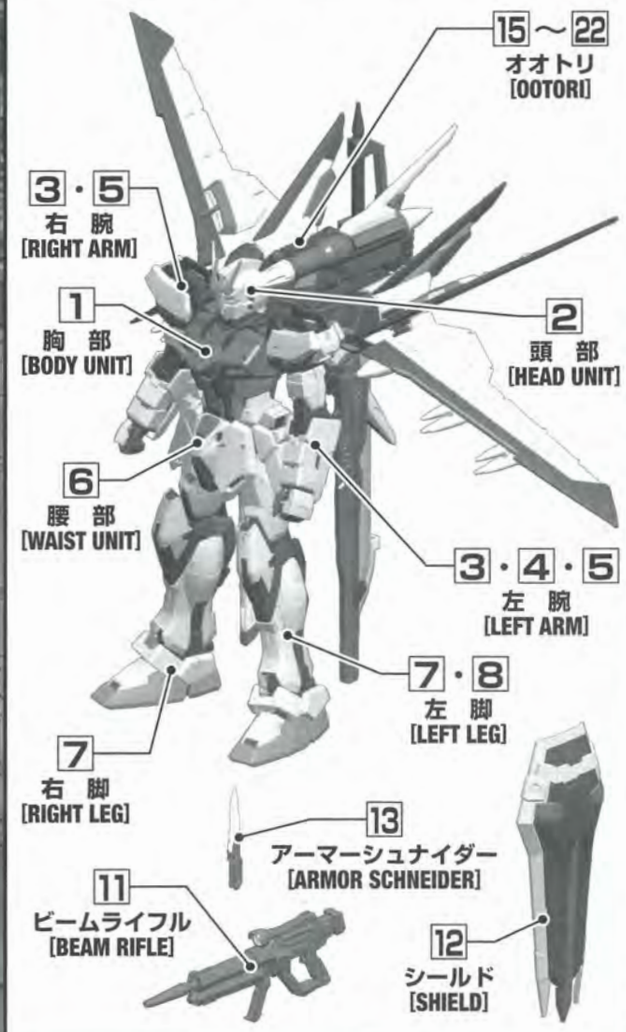

❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。



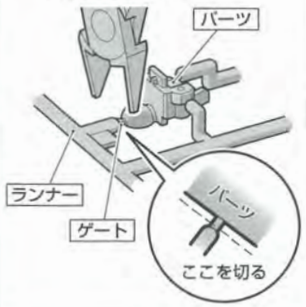
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

## 説明書をよく読んで完成させましょう

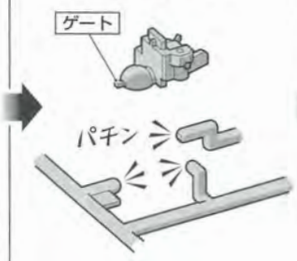



## パーツの切り取りかた

❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。




❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。




❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。






## ⚠ 注 意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

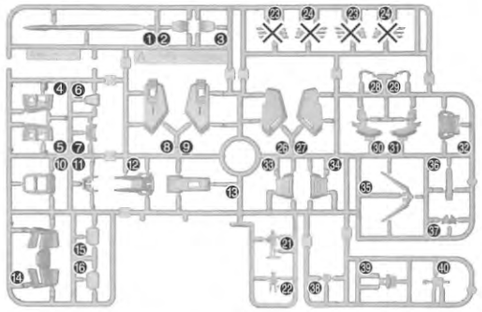
- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

### 〈組み立てる時の注意〉

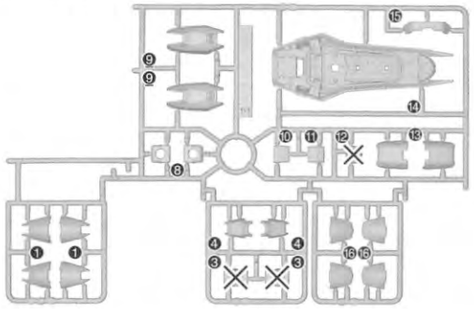
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な『水性塗料』のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

## パーツリスト （×印は使用しないパーツです。）

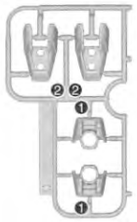
Aパーツ(イロプラ) (スチロール樹脂：PS)



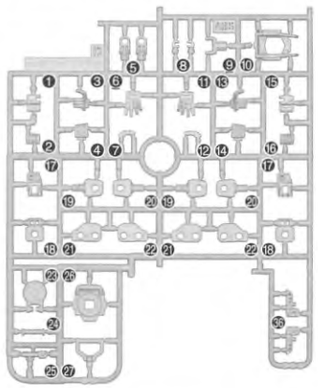
Bパーツ(ライトピンク) (スチロール樹脂：PS)



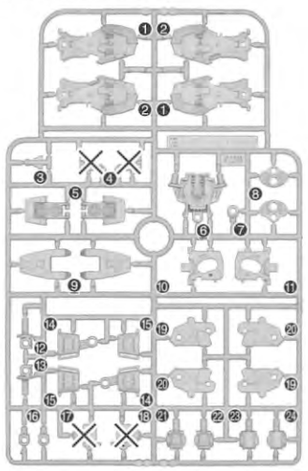
Cパーツ(ピンク)
(スチロール樹脂：PS)



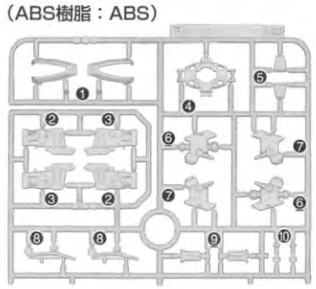
Dパーツ(グレー) (ABS樹脂：ABS)



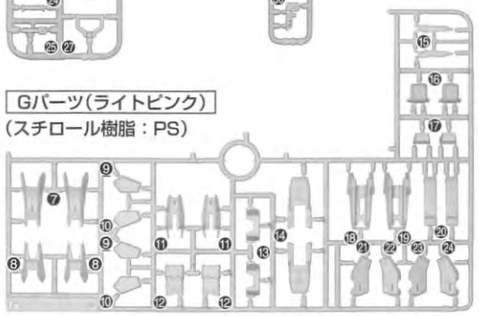
Eパーツ(グレー)
(ABS樹脂：ABS)



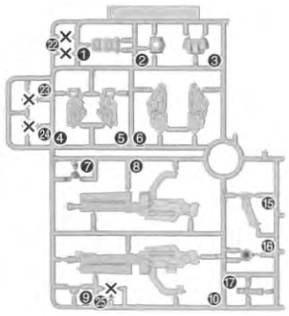
Fパーツ(グレー)
(ABS樹脂：ABS)



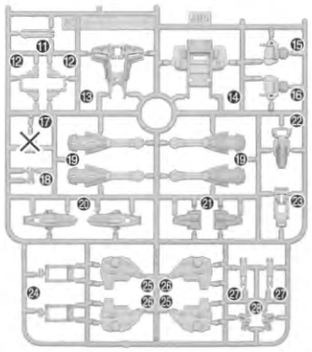
Gパーツ(ライトピンク)
(スチロール樹脂：PS)



Lパーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)



Mパーツ(グレー) (ABS樹脂：ABS)

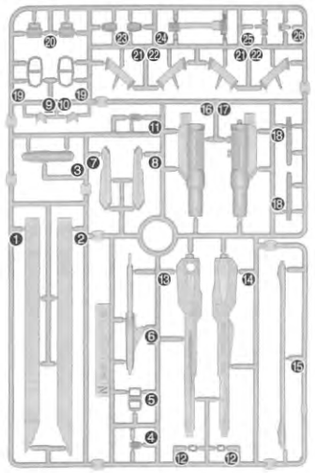


H2パーツ(ピンク)
(スチロール樹脂：PS)

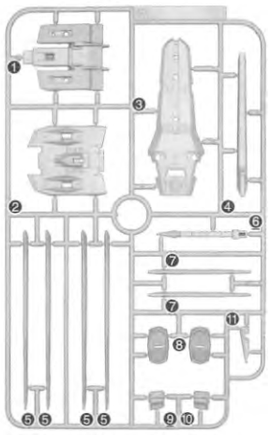




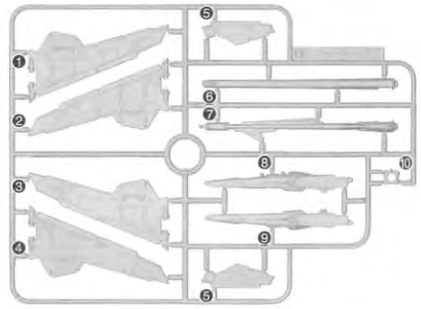
Nパーツ(イロプラ)
(スチロール樹脂：PS)



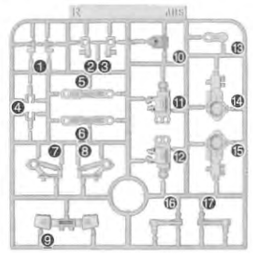
Qパーツ(ブラック)
(スチロール樹脂：PS)



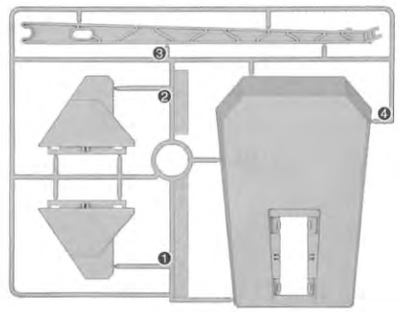
Oパーツ(ホワイト) (スチロール樹脂：PS)



Rパーツ(グレー)
(ABS樹脂：ABS)

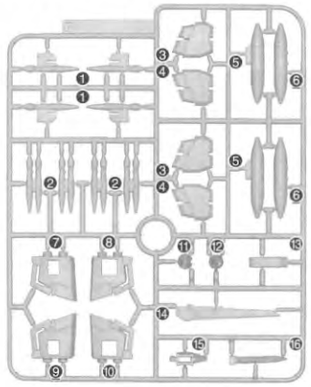


BA2パーツ(ブラック) (スチロール樹脂：PS)

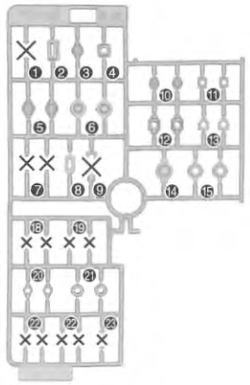


※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

Pパーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂：PS)



PC-130B(グレー)
(ポリエチレン：PE)



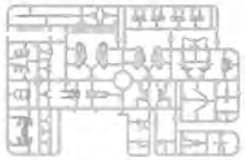
カラーシール……1枚
マーキングシール……1枚
ガンダムデカール……1枚

## 1 BODY UNIT



・組立1で使用するパーツ

A(イロプラ)



D(グレー)



E(グレー)



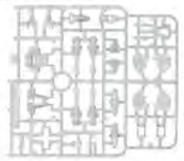
H2(ピンク)



L(グレー)



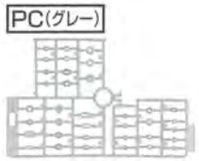
M(グレー)



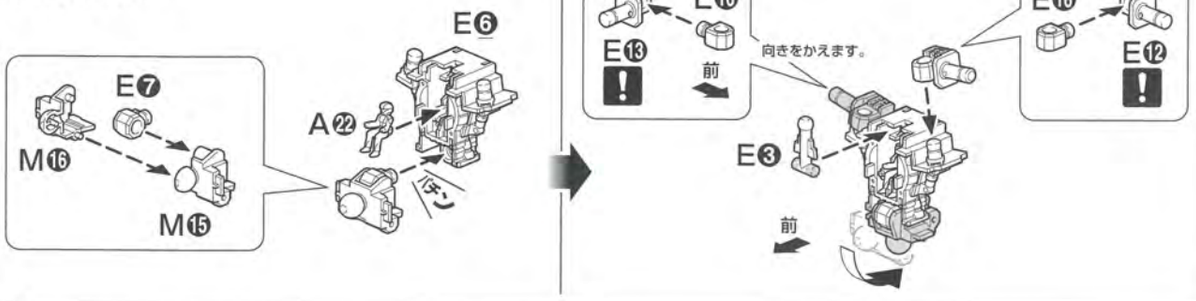
N(イロプラ)



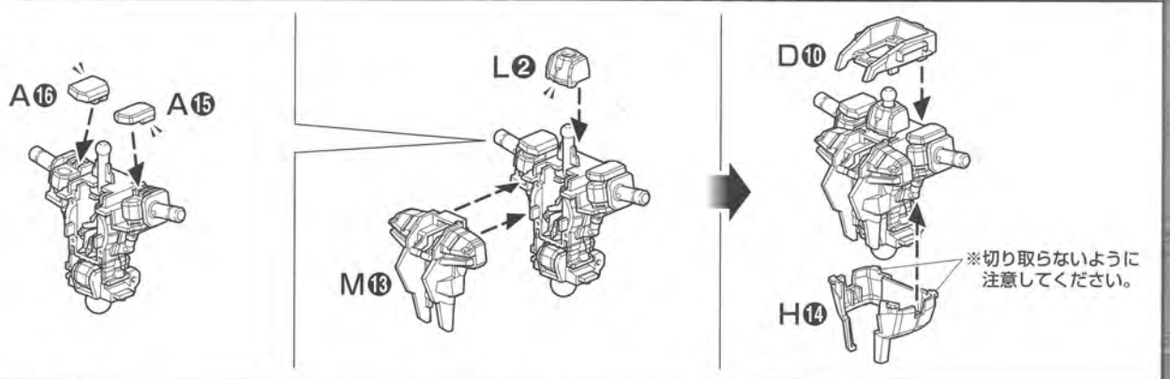
PC(グレー)



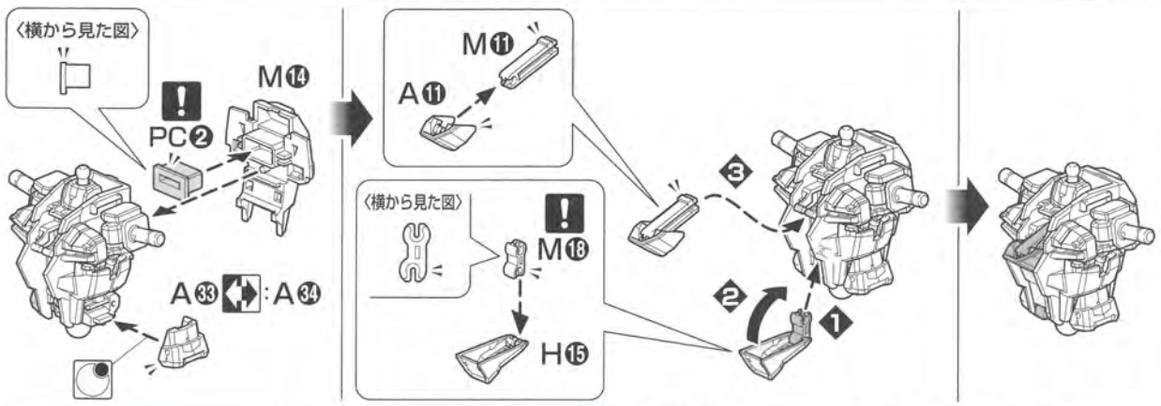
### 1 〔胸部の組立〕
〈1〉 BODY UNIT




### 1
〈2〉



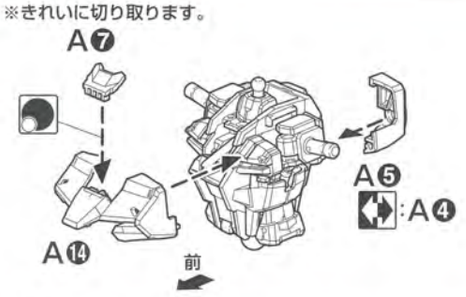

### 1
〈3〉

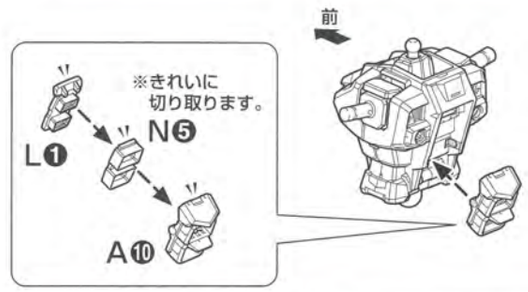





※組立図中の記号説明
- ! 向きに注意して組み立てる
- 反対側に取り付けるパーツ
- 先に組み立てる

### 1
〈4〉




## 2 HEAD UNIT



・組立2で使用するパーツ

A(イロプラ)



H2(ピンク)



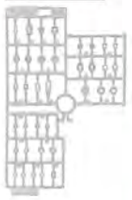
L(グレー)



N(イロプラ)

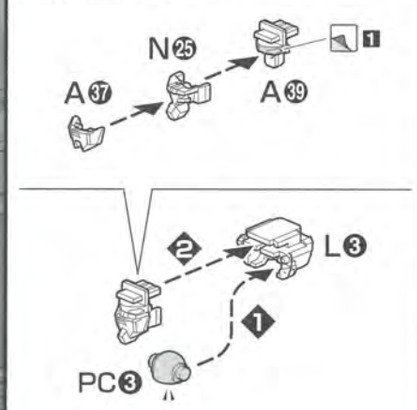


PC(グレー)

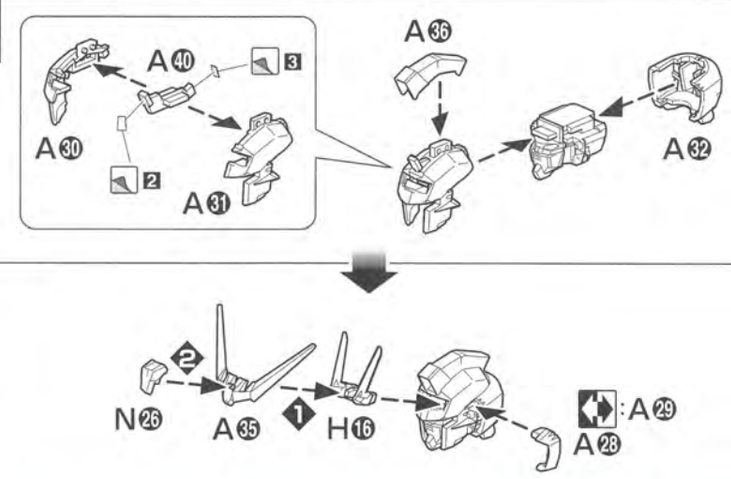


・カラーシール

### 2 〔頭部の組立〕
〈1〉 HEAD UNIT




### 2
〈2〉

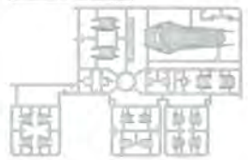



## 3 4 5 ARM UNIT



・組立3・4・5で使用するパーツ

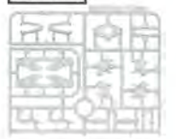
B(ライトピンク)



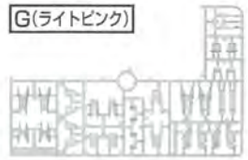
D(グレー)



F(グレー)



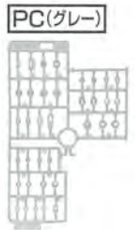
G(ライトピンク)



M(グレー)

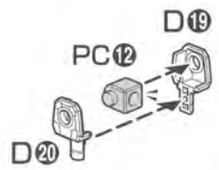


PC(グレー)

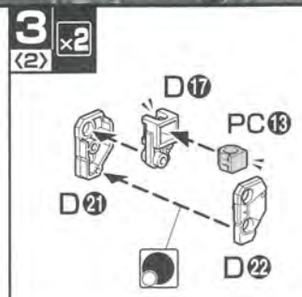


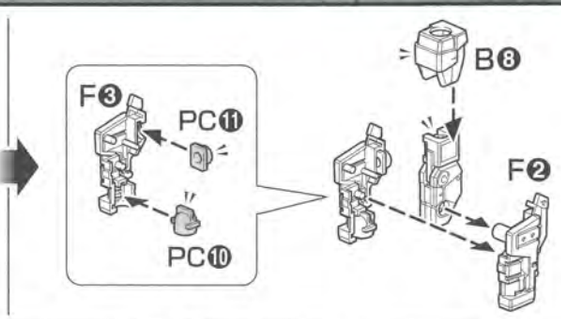
※組立図中の記号説明
- 後から組み立てる
- 反対側に取り付けるパーツ
- 1 シールの番号

## 3 〈1〉 ×2 〔腕部の組立〕 ARM UNIT

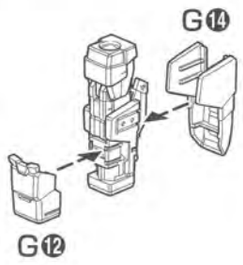



## 3 〈2〉 ×2

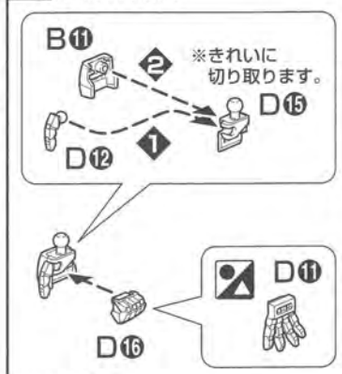


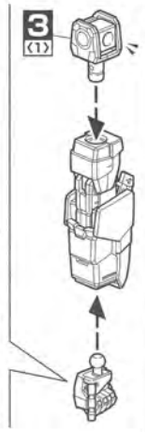




## 3 〈3〉 ×2



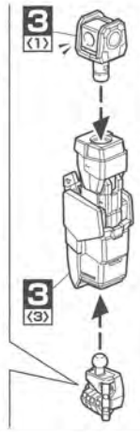

## 3 〈4〉 〔右腕の組立〕 RIGHT ARM



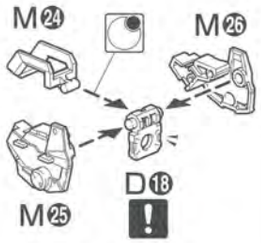




## 4 〔左腕の組立〕 LEFT ARM

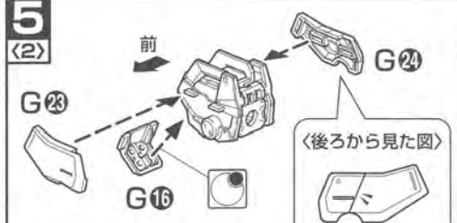


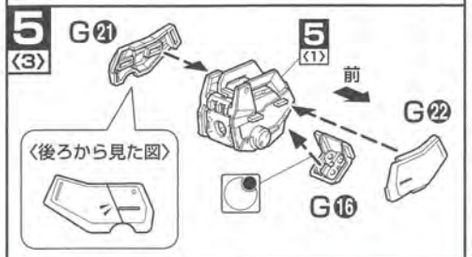

## 5 〈1〉 ×2



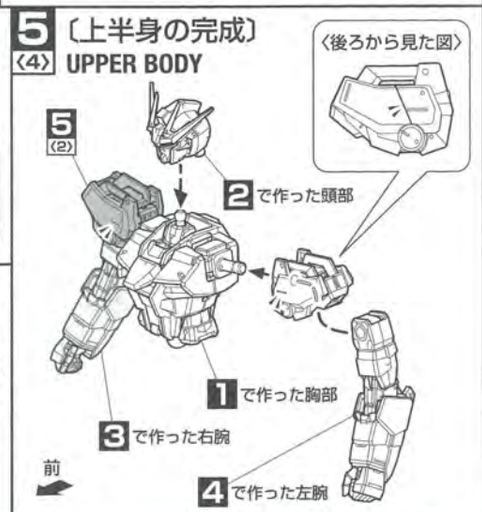

## 5 〈2〉




## 5 〈3〉



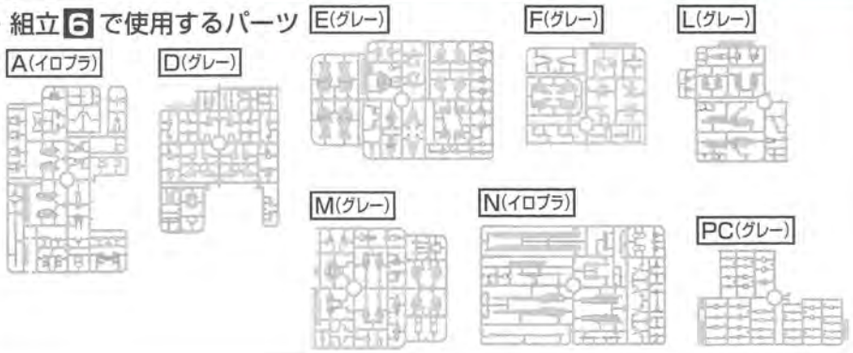

## 5 〈4〉 〔上半身の完成〕 UPPER BODY




## 6 WAIST UNIT



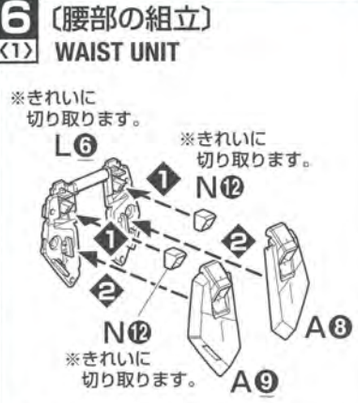
・組立 6 で使用するパーツ

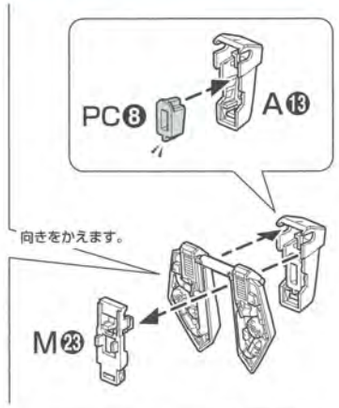



※組立図中の記号説明
×2 部品を数値の個数作る
後から組み立てる
どちらかを選んで取りつける
先に組み立てる
! 向きに注意して組み立てる

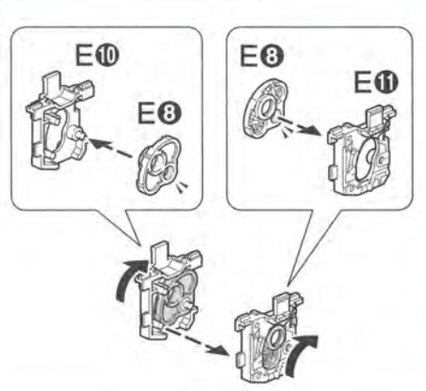


## 6 〈1〉 〔腰部の組立〕 WAIST UNIT

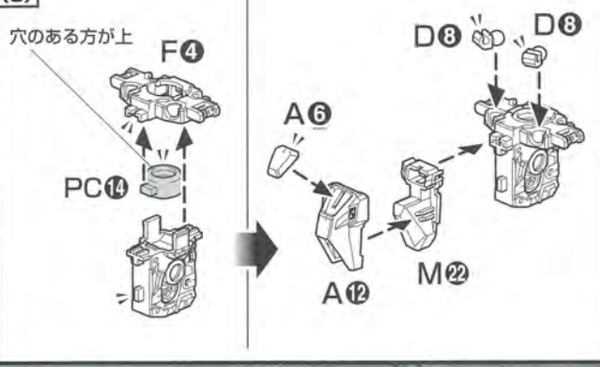


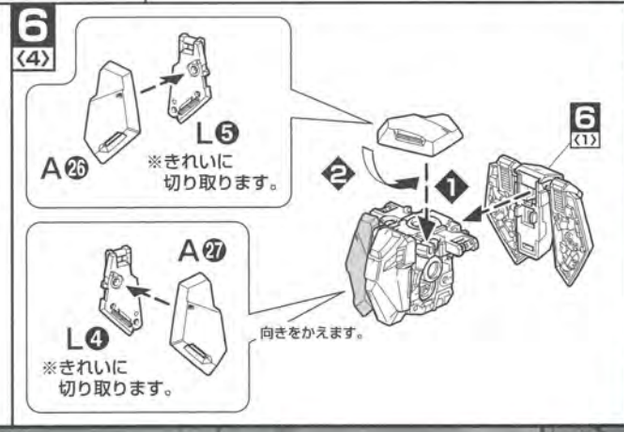

## 6 〈2〉




## 6 〈3〉



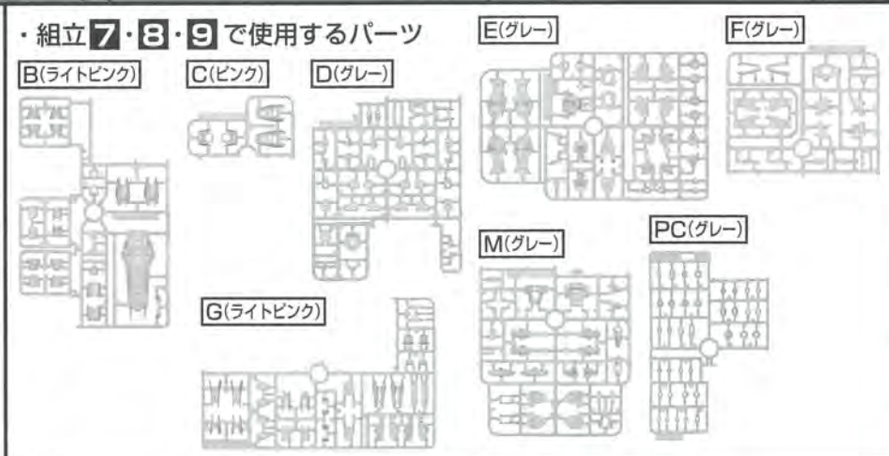

## 6 〈4〉



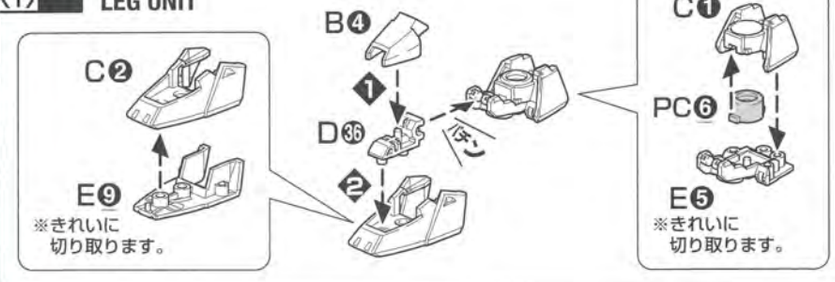

## 7 8 LEG UNIT



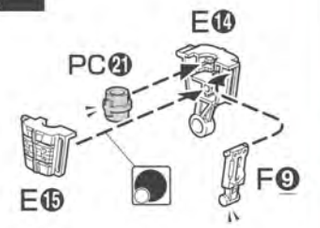
・組立 7・8・9 で使用するパーツ




## 7 〈1〉 ×2 〔脚部の組立〕 LEG UNIT




## 7 〈2〉 ×2




※組立図中の記号説明
×2 部品を数値の個数作る
後から組み立てる

## ■機体構造

### パワーエクステンダーの開発

ストライクルージュの開発は、多目的ストライカーパック「EW454Fオオトリ」と同時に進められた。しかし、オオトリはその用途と構造から大量の電力を消費するため、開発に際しては実用に耐えられるパワーソースの確保が必須とされた。そこでモルゲンレーテ社はPMP社が開発し、オオトリの原型となったI.W.S.P.(統合兵装ストライカーパック)をベースにストライカーパックシステムの省電力化に着手する。

モルゲンレーテ社は、暗礁に乗り上げていたPMP社の新型パワーソースに関するデータを入手し、独自の技術を投入、開発を継続。この結果、「パワーエクステンダー」の開発に成功した。これにより、MS本体とパワーソースの双方において、大幅な燃費の向上を達成した。この技術はその後、公式・非公式のルートで外部に流出し、広く普及することとなる。それにより連合・ザフト両陣営から新たに登場するモビルスーツは揃って大幅な出力の向上と活動時間の延長を実現することとなった。特に、「セカンドステージシリーズ」と呼ばれる一連のMSが採用したVPS(ヴァリアブルフェイズシフト)装甲の実用化には、パワーエクステンダーの存在が不可欠とされた。

▼フロント



▲リア

▲▶オオトリ装備時のストライクルージュの検討用画稿。オオトリを装備した際のボリュームや全体のバランスが検討された。

## ■オオトリの開発

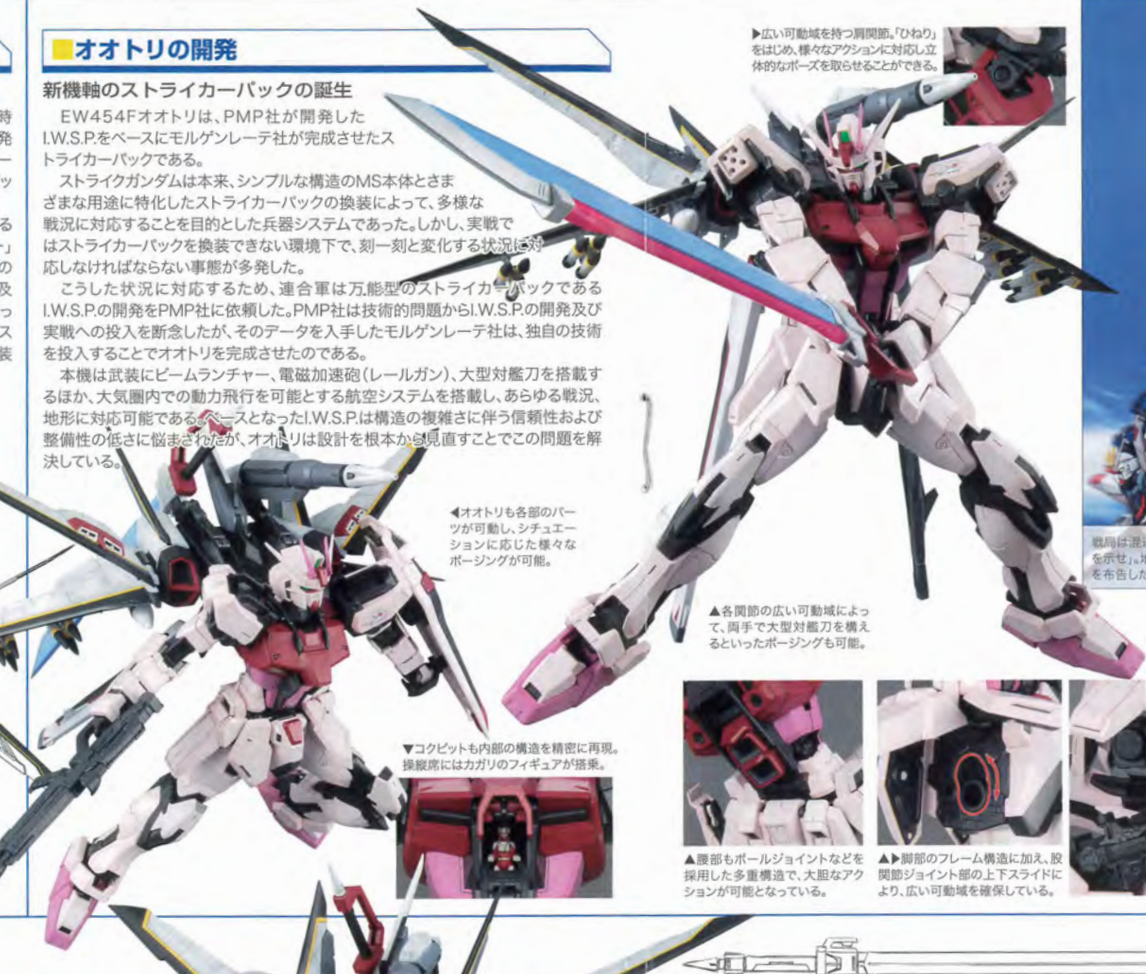
### 新機軸のストライカーパックの誕生

EW454Fオオトリは、PMP社が開発したI.W.S.P.をベースにモルゲンレーテ社が完成させたストライカーパックである。

ストライクガンダムは本来、シンプルな構造のMS本体とさまざまな用途に特化したストライカーパックの換装によって、多様な戦況に対応することを目的とした兵器システムであった。しかし、実戦ではストライカーパックを換装できない環境下で、刻一刻と変化する状況に対応しなければならない事態が多発した。

こうした状況に対応するため、連合軍は万能型のストライカーパックであるI.W.S.P.の開発をPMP社に依頼した。PMP社は技術的問題からI.W.S.P.の開発及び実戦への投入を断念したが、そのデータを入手したモルゲンレーテ社は、独自の技術を投入することでオオトリを完成させたのである。

本機は武装にビームランチャー、電磁加速砲(レールガン)、大型対艦刀を搭載するほか、大気圏内での動力飛行を可能とする航空システムを搭載し、あらゆる戦況、地形に対応可能である。ベースとなったI.W.S.P.は構造の複雑さに伴う信頼性および整備性の低さに悩まされたが、オオトリは設計を根本から見直すことでこの問題を解決している。



◀オオトリも各部のパーツが可動し、シチュエーションに応じた様々なポージングが可能。

▶広い可動域を持つ肩関節。「ひねり」をはじめ、様々なアクションに対応し立体的なポーズを取らせることができる。



▲各関節の広い可動域によって、両手で大型対艦刀を構えるといったポージングも可能。



戦局は混迷を深め、カガリの祖国であるオーブ連合首長国の中立をも揺るがすこととなる。「旗の色を示せ」。地球連合軍の圧力に屈したオーブは、ザフトと、第3の勢力となったアークエンジェルに宣戦を布告した。苦悩するカガリは、自らストライクルージュを駆り、戦いの空に乗り出す。



▲腰部もボールジョイントなどを採用した多重構造で、大胆なアクションが可能となっている。



▲▶脚部のフレーム構造に加え、股関節ジョイント部の上下スライドにより、広い可動域を確保している。



▼分割構造となっている足部。こうした構造によって大地を踏みしめるような力強いポージングが可能。






①57mm高エネルギービームライフル
②対ビームシールド
③アーマーシュナイダー
④大型対艦刀

▼コクピットも内部の構造を精密に再現。操縦席にはカガリのフィギュアが搭乗。



## ■オオトリの武装

### あらゆる状況に対応した兵装群

オオトリには高出力のビームランチャーおよびレールガン、大型対艦刀、実体弾火砲のすべてが標準仕様で装備されている。これにより、オオトリはあらゆる戦況に対応することが可能である。ビームランチャーとレールガンは機体の右舷と左舷にそれぞれ可動アーム式ハードポイントによって装備されている。この2門の火砲は共に開発時点において最大級の威力と有効射程を誇り、いかなるMSのPS装甲をも一撃で貫通、または破砕することが可能とされる。機体上面右舷のハードポイントに装備された大型対艦刀はその名が示すように本来は対艦艇用兵器であったが、現在では対MS近接戦闘用兵器として位置付けられている。機体上面左舷のポッドは機関砲、ミサイルランチャー、電子戦兵器などとの換装が可能である。なお4発のエンジンを搭載したX字型可変翼下面に懸架されているのは、ドロップタンクではなく、ミラージュコロイドを搭載したステルス支援システムとも言われているが詳細は不明である。



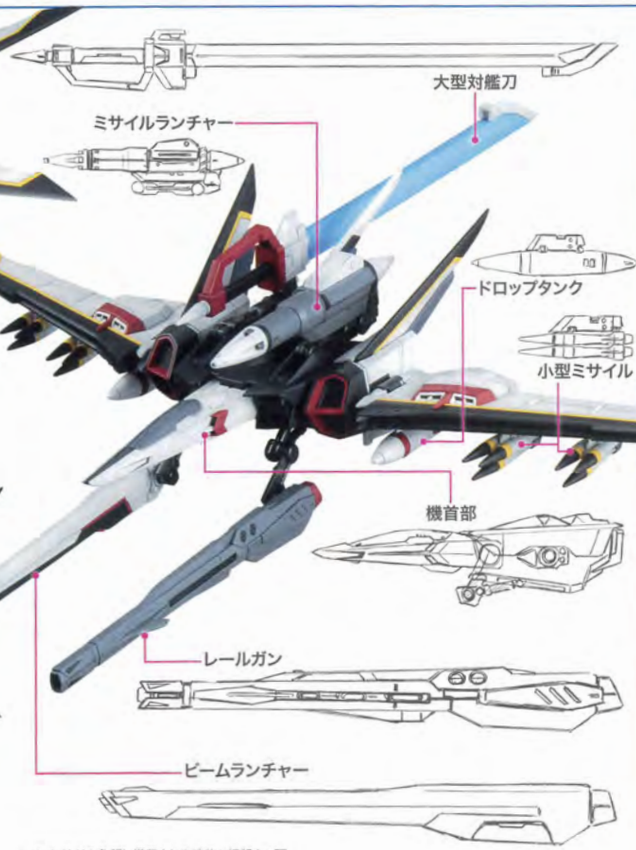
※画像はイメージです。

ミネルバに襲い来るムラサメの前にその身を投げ出すカガリ。「戦いをやめろ!」――国を追われた姫の叫びが虚しく響く。敵もまたカガリと同じくオーブを愛する武人なのだ。あまたの血が蒼穹に散り、カガリは己の無力を噛み締める。ストライクルージュ――その機体は、血の色に似て。



▲付属する専用の台座を用いることで、飛行状態を再現したディスプレイが可能。この台座にはオオトリのみを取り付けることもできる。

◀ストライクルージュの背面に取り付けるオオトリ。変形機構に加え、各部の武装やインテークといったディテールなども再現されている。




▲オオトリの各部に搭載される武装も細部まで再現されている。オオトリ本体に加え、それぞれの武装には検討画稿が作成され、細部まで検証された。

## ■運用

### カガリと共に戦場に立った、真紅のMS

オーブの姫、後には首長となったカガリ・ユラ・アスハにとって、祖国の建国理念である中立思想は自分自身の命以上に大切なものと言えた。戦いではなく平和を――。しかし、過酷な現実は、彼女に銃を取る道を選ぶことを強いる。哀切な決意と共に立ち上がったカガリにとって、ストライクルージュは自らの決意を体現したもうひとりの彼女自身なのだ。第一次連合・プラント大戦では、超大型ガンマ線レーザー砲台ジェネシスを巡る攻防戦で活躍。続く戦乱ではオーブ本国での戦闘において重要な役目を果たした。また本機には、両大戦を通じて最強のパイロットと評価されるキラ・ヤマトも搭乗している。



◀肩関節をはじめ、腕部関節の可動により、大型対艦刀を引き抜く力強いポージングも可能。劇中でのイメージを再現する。

GUNDAM SEED DESTINY HD REMASTER

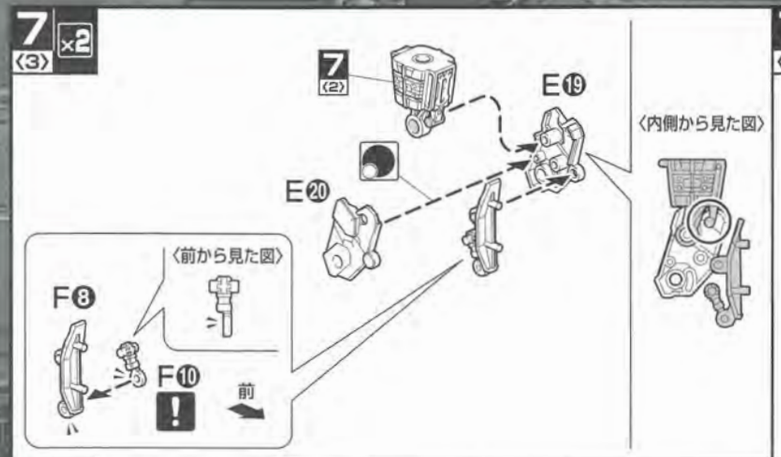
2004年の放送以来、根強い人気を誇る『機動戦士ガンダムSEED DESTINY』が、Blu-rayになって登場!!



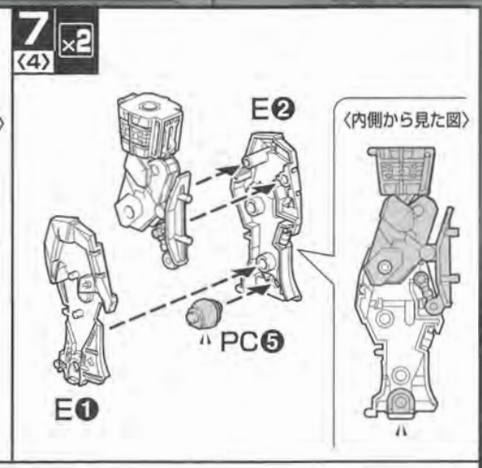
月刊『ガンダムエース』にて『機動戦士ガンダムSEED』リマスターコミックが連載開始。新武装、新エピソードなど、コミック版でしか読めない新要素も満載。緻密に描かれたSEEDコミックの決定版!!



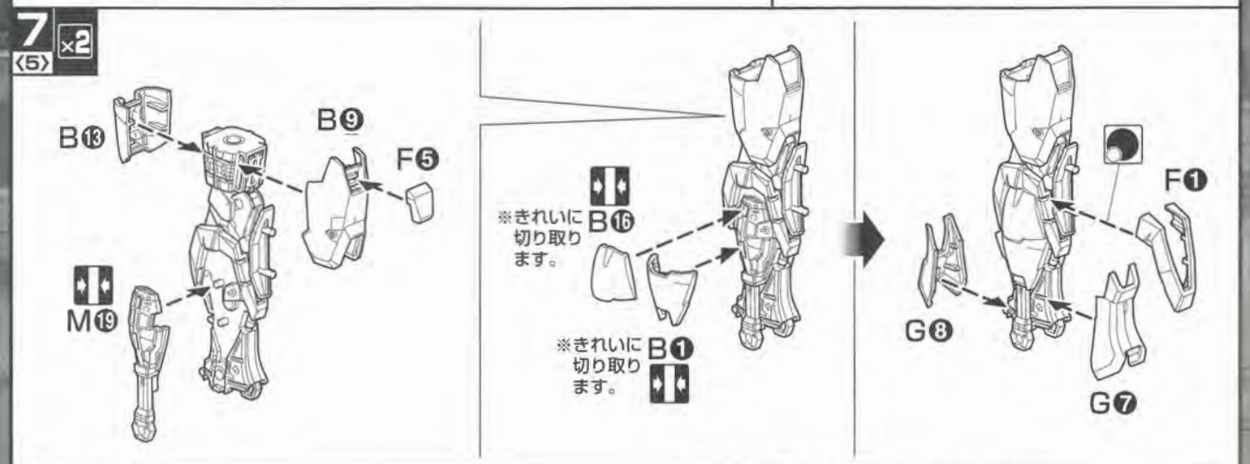
## 7 〈3〉 ×2



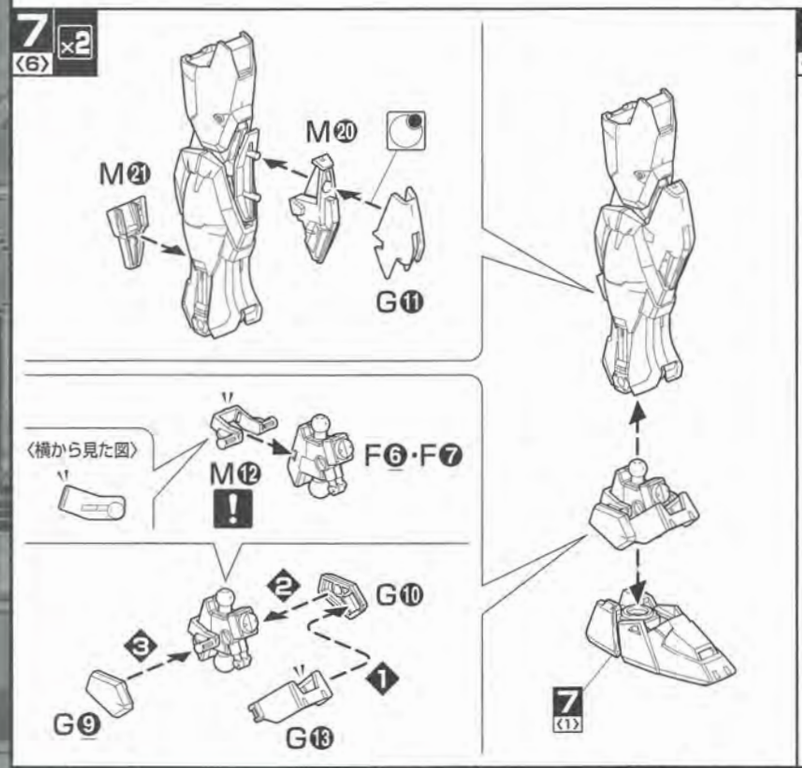

## 7 〈4〉 ×2



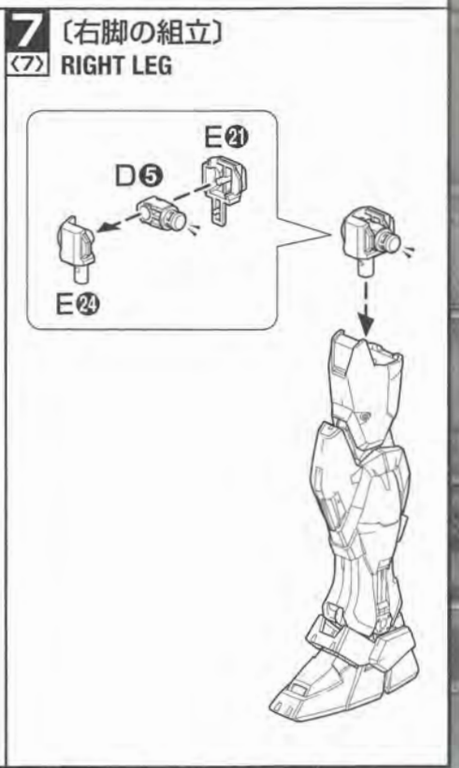

## 7 〈5〉 ×2



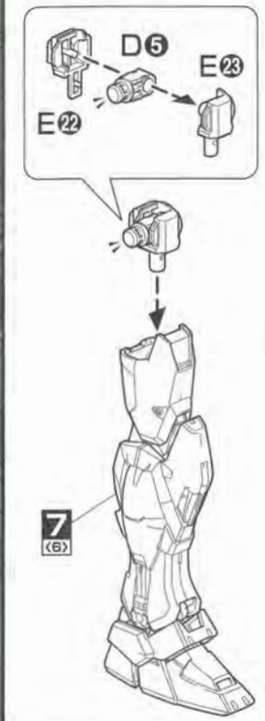

## 7 〈6〉 ×2



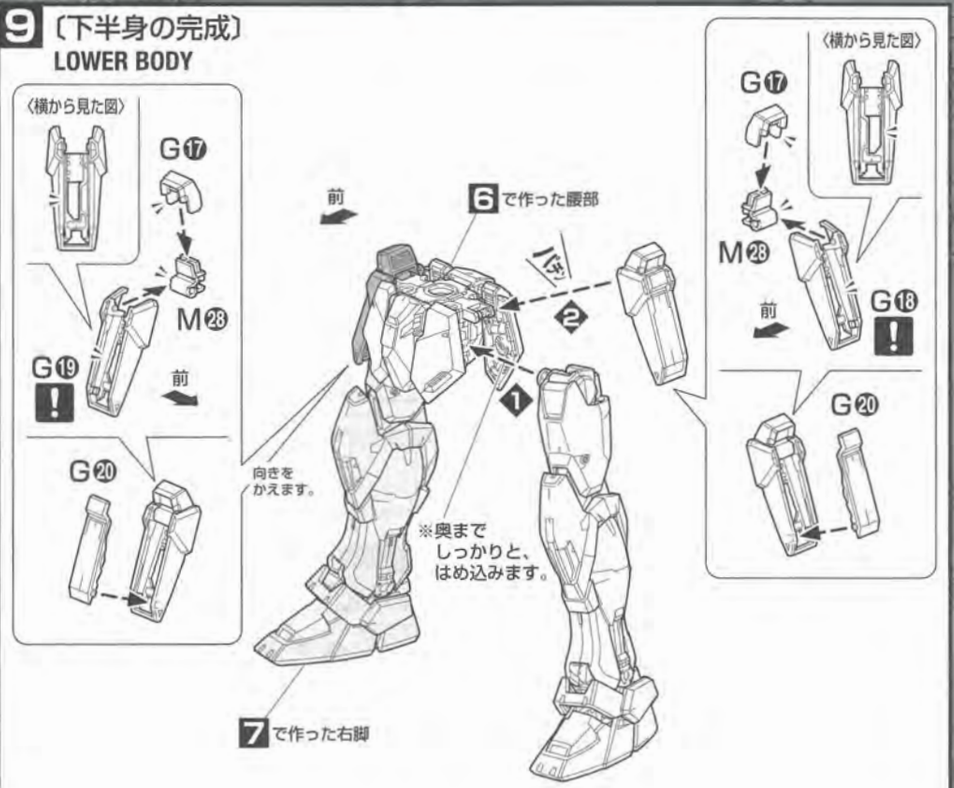

## 7 〈7〉 〔右脚の組立〕 RIGHT LEG



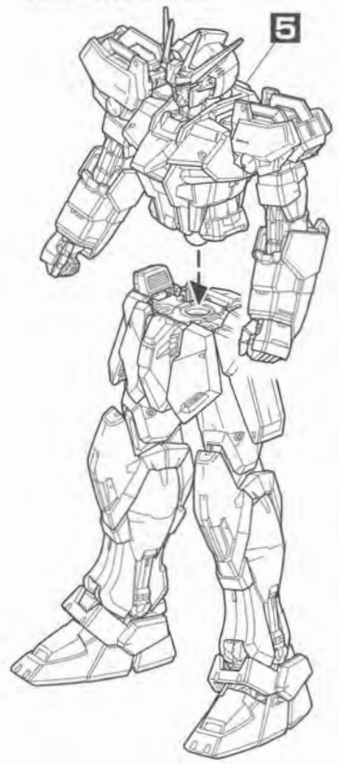

## 8 〔左脚の組立〕 LEFT LEG




## 9 〔下半身の完成〕 LOWER BODY



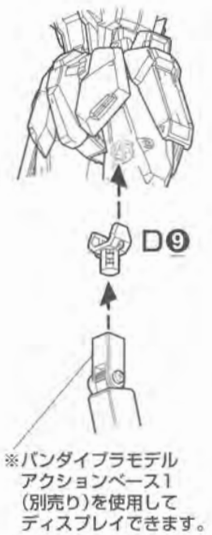

## 10 〔完成〕 FINAL ASSEMBLE




### 〈コクピットハッチの開き方〉




（説明のため、一部イラストを省略しています。）




※組立図中の記号説明
×2 部品を数値の個数作る
! 向きに注意して組み立てる
後から組み立てる
両側に同じパーツを取りつける
先に組み立てる

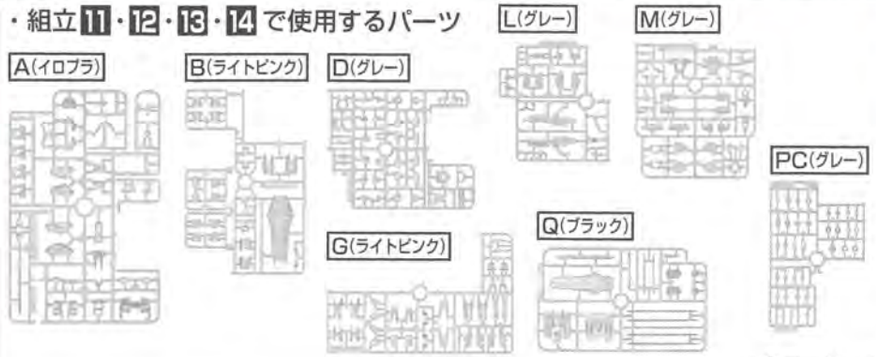


※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる

## 11 12 13 WEAPONS

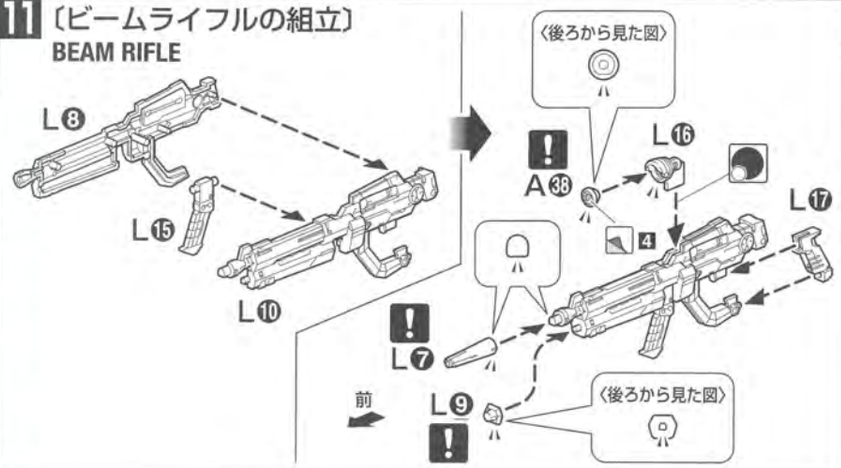


・組立 11・12・13・14 で使用するパーツ

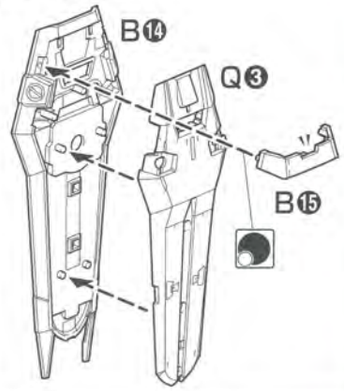



・カラーシール

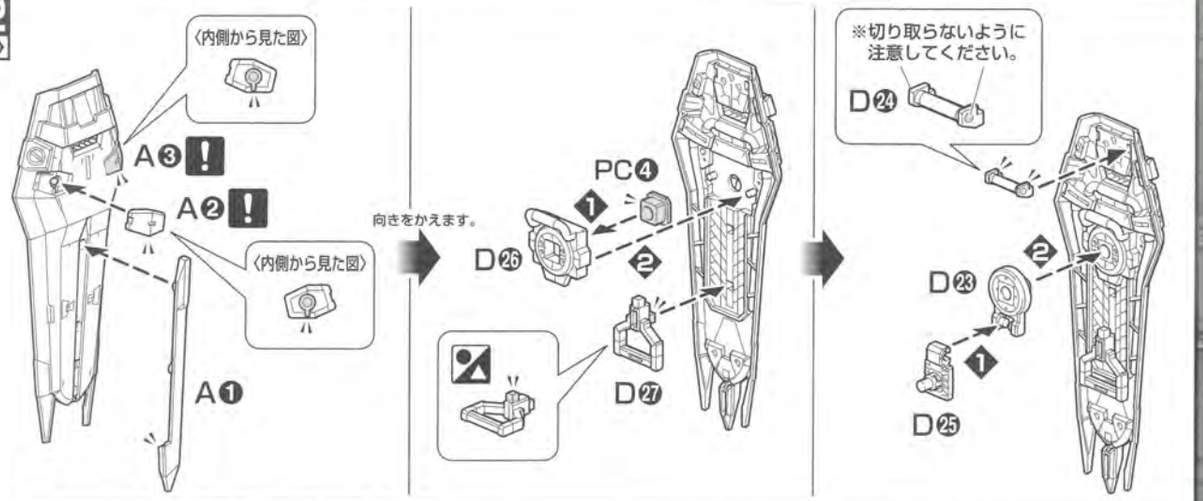
## 11 〔ビームライフルの組立〕 BEAM RIFLE




## 12 〈1〉 〔シールドの組立〕 SHIELD



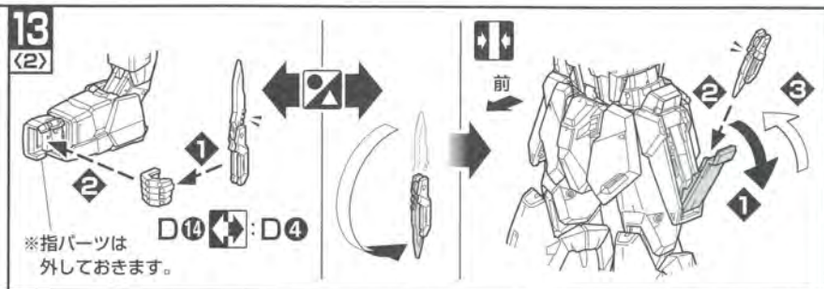

## 12 〈2〉




## 13 〈1〉 ×2 〔アーマーシュナイダーの組立〕 ARMOR SCHNEIDER



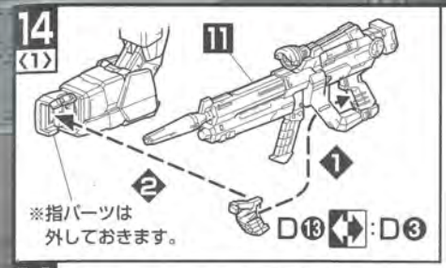

## 13 〈2〉



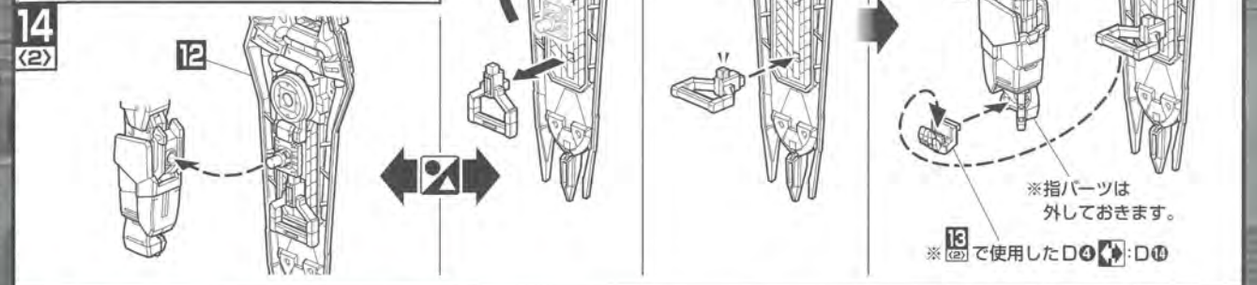



※組立図中の記号説明
- 向きに注意して組み立てる
- 後から組み立てる
- 1 シールの番号
- どちらかを選んで取りつける
- ×2 部品を数値の個数作る
- 反対側に取り付けるパーツ
- 両側に同じパーツを取りつける

## 14 〈1〉



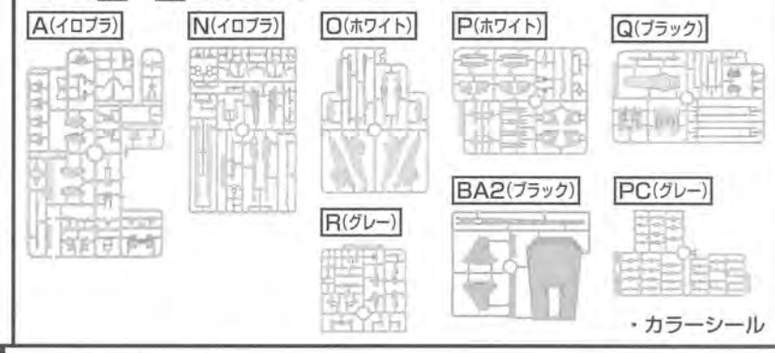

## 14 〈2〉




## 15 〜 22 OOTORI

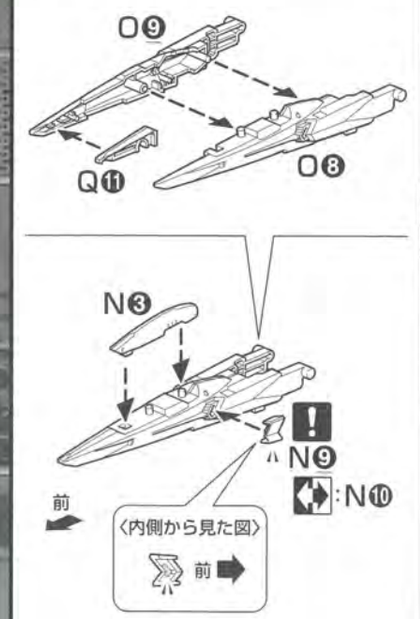


・組立 15 〜 24 で使用するパーツ

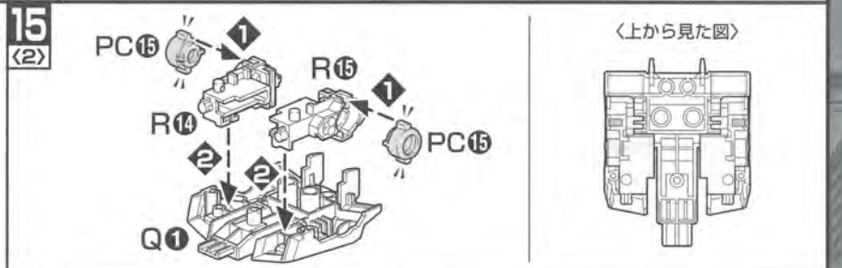



・カラーシール

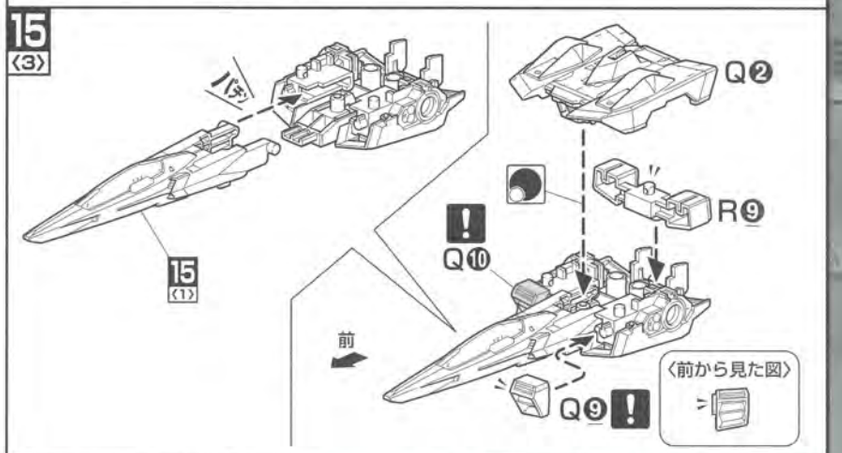
## 15 〈1〉 〔オオトリの組立〕 OOTORI




## 15 〈2〉



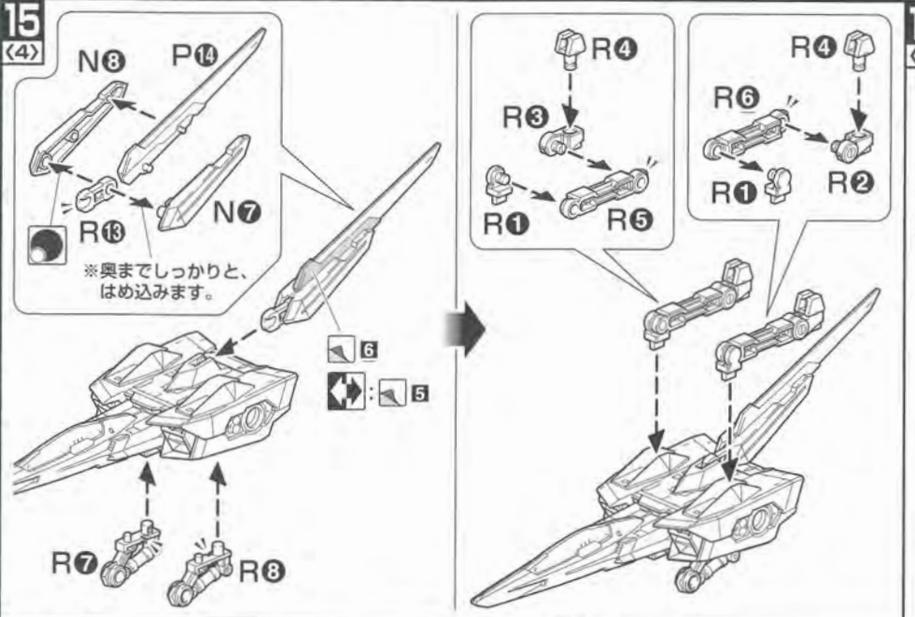

## 15 〈3〉



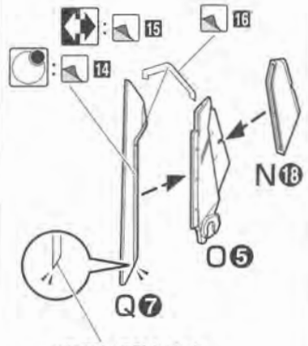



※組立図中の記号説明
- 反対側に取り付けるパーツ
- どちらかを選んで取りつける
- 向きに注意して組み立てる
- 後から組み立てる

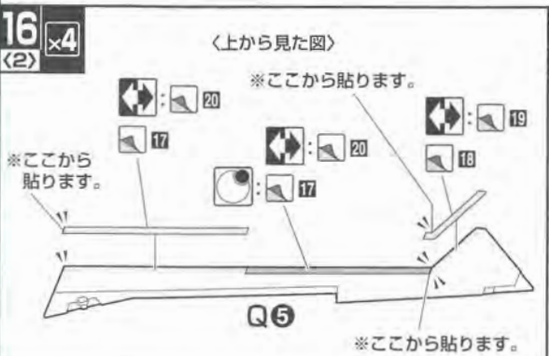
## 15 〈4〉



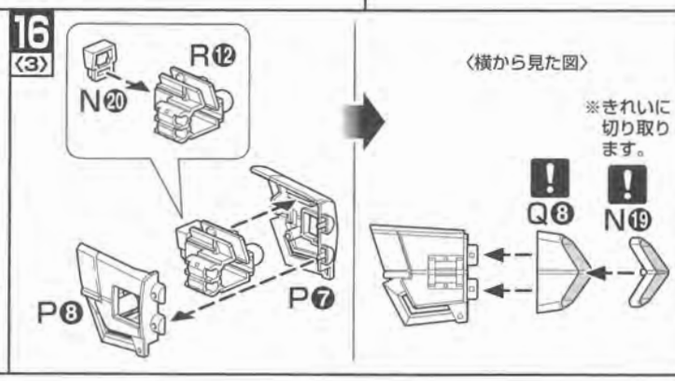

## 16 〈1〉 ×2



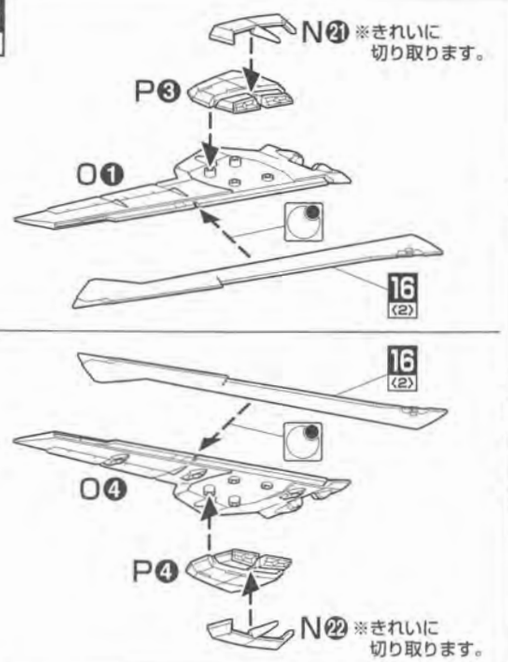

## 16 〈2〉 ×4

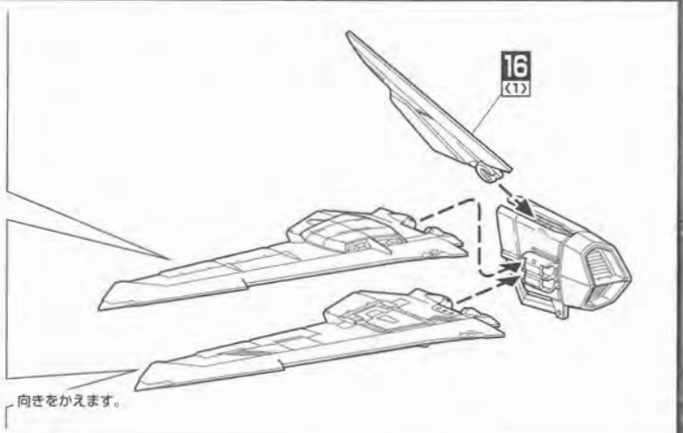



## 16 〈3〉

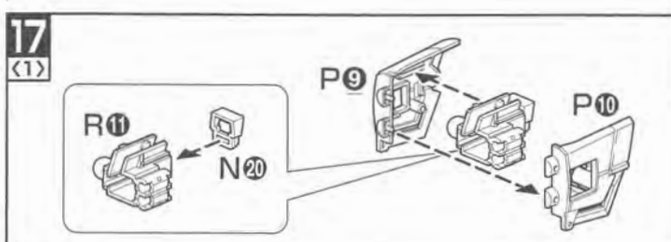



## 16 〈4〉



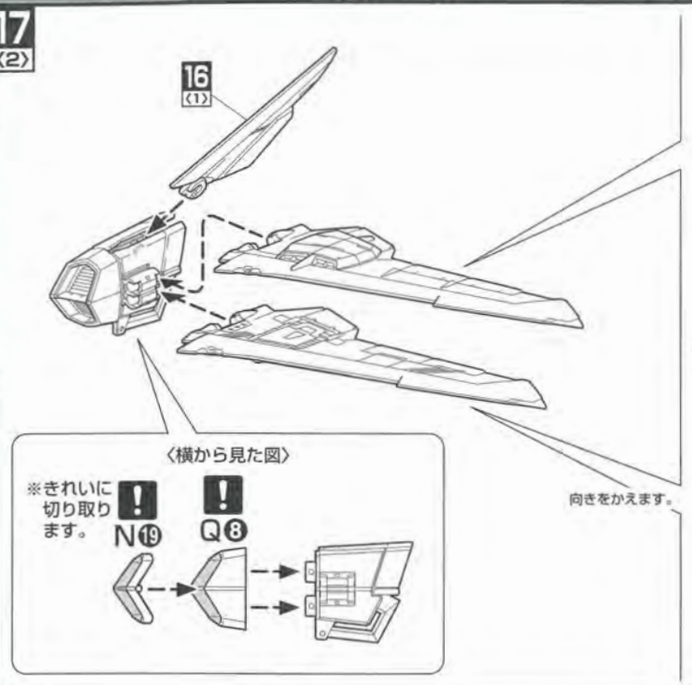

## 17 〈1〉

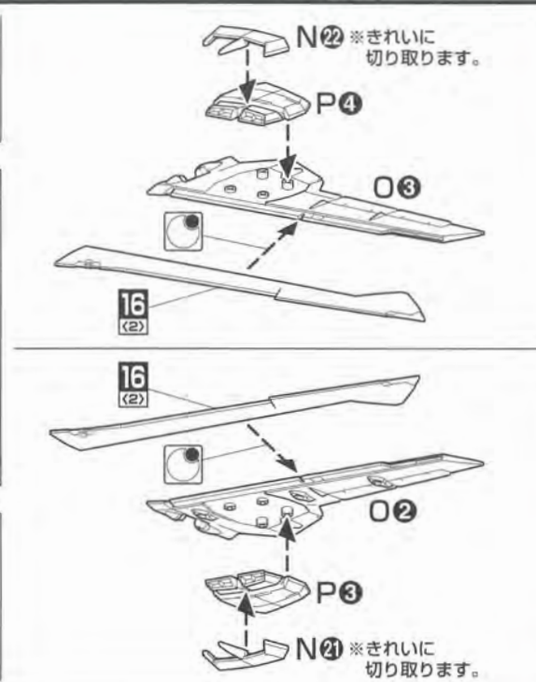




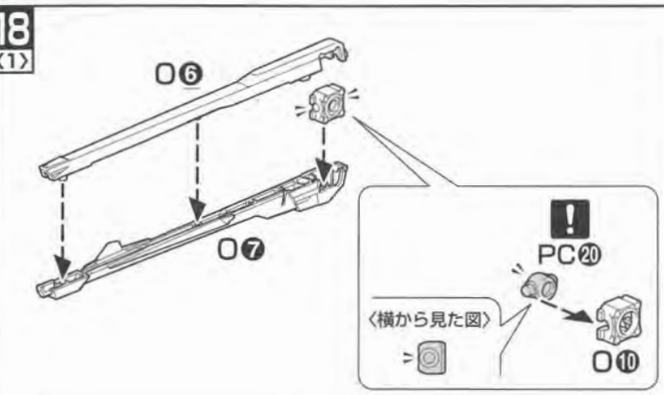

※組立図中の記号説明: 後から組み立てる / 1 シールの番号 / 反対側に取り付けるパーツ / ×2 部品を数値の個数作る / 先に組み立てる / 向きに注意して組み立てる

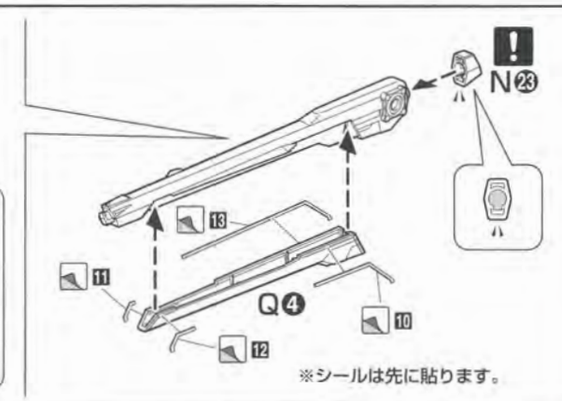
## 17 〈2〉



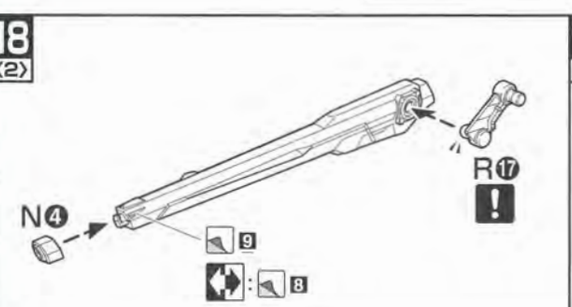




## 18 〈1〉

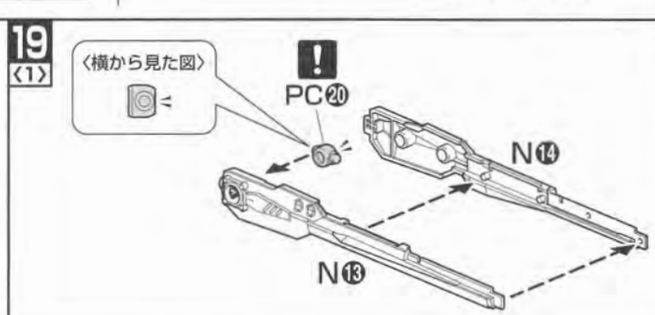


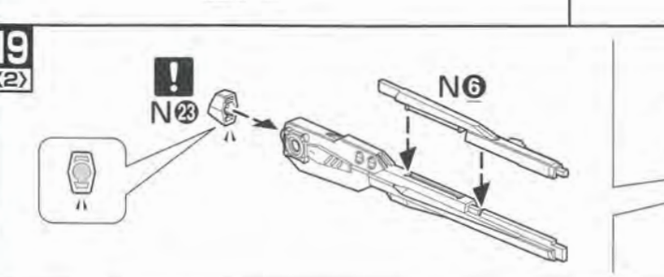

## 18 〈2〉

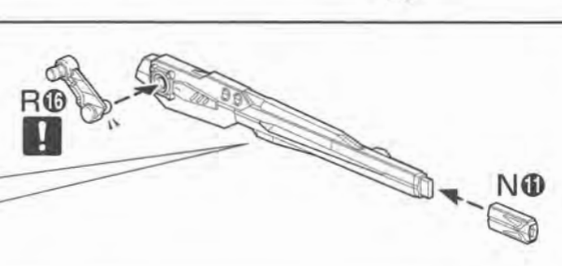



## 19 〈1〉




## 19 〈2〉

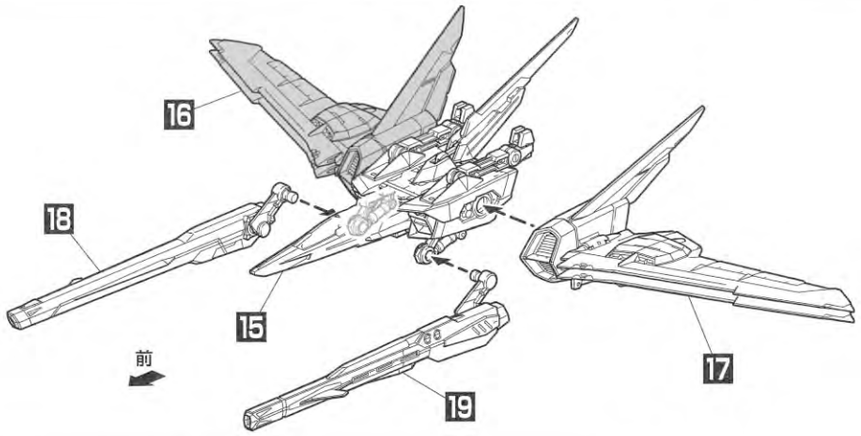


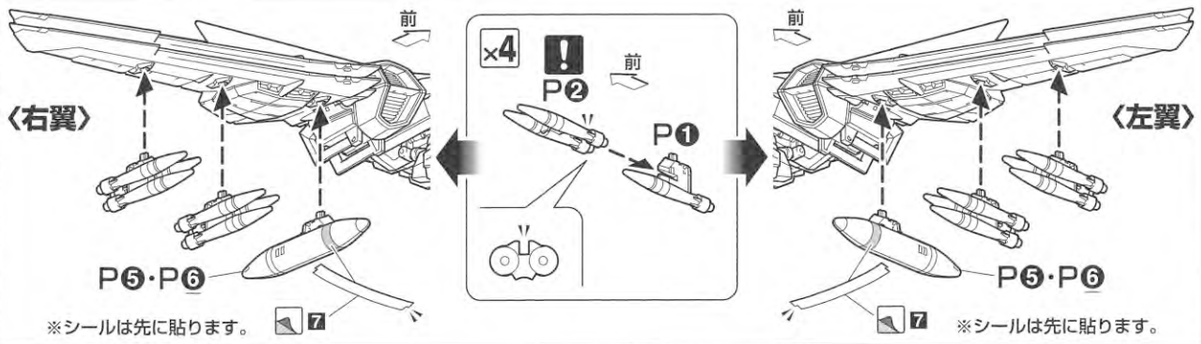





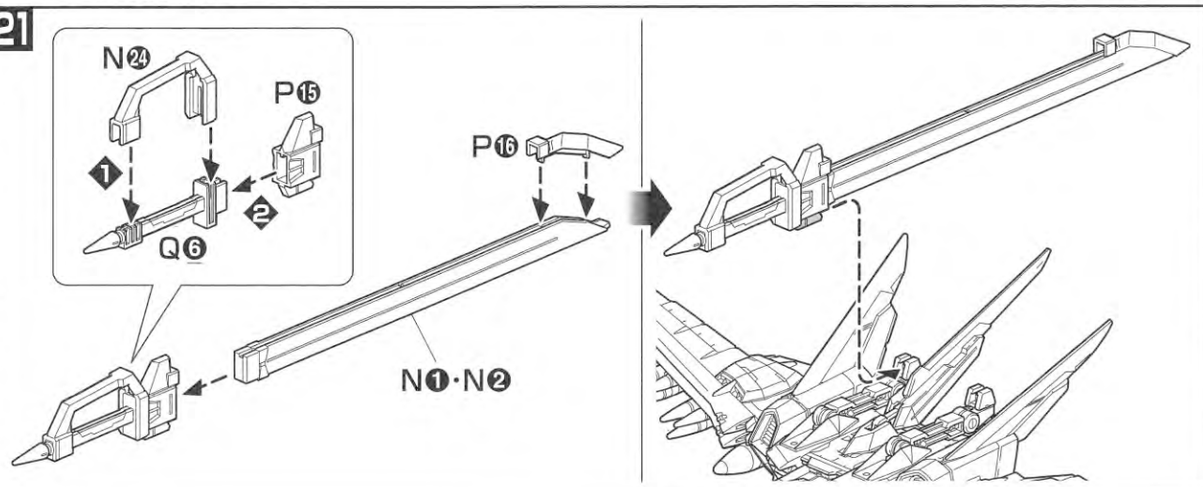

※組立図中の記号説明: 向きに注意して組み立てる / 先に組み立てる / 1 シールの番号 / 反対側に取り付けるパーツ

## 20

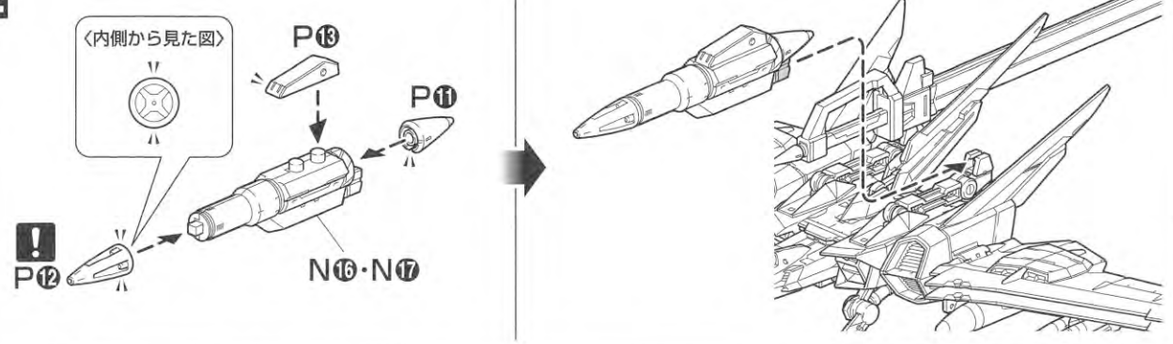



## 21

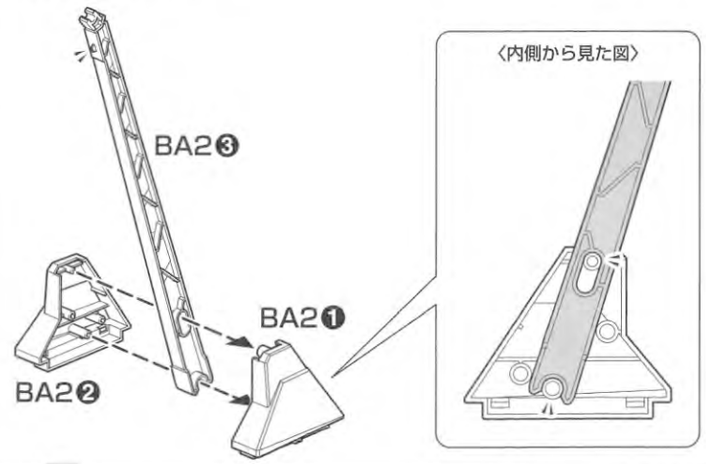


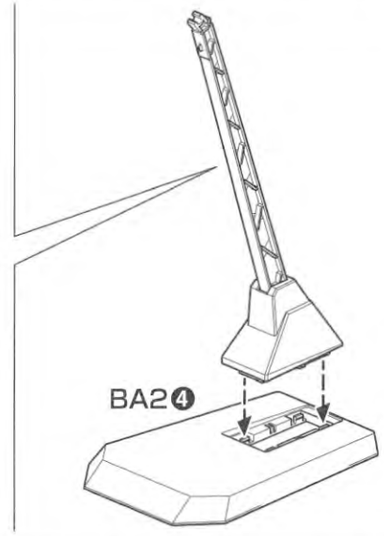

## 22

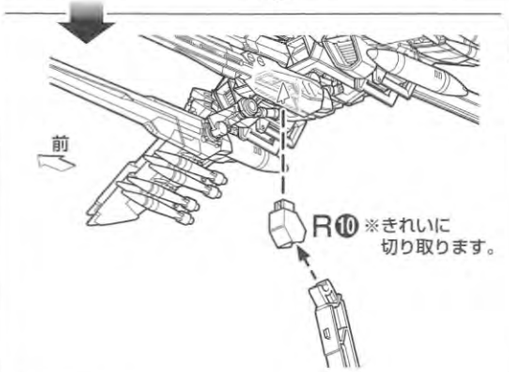





## 23 〔ディスプレイ・スタンドの組立〕
**DISPLAY STAND**

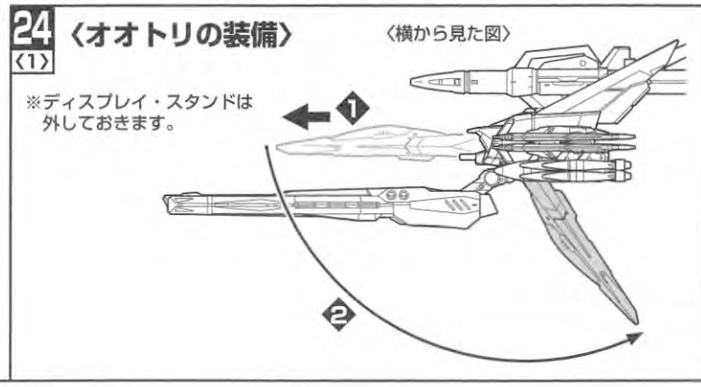


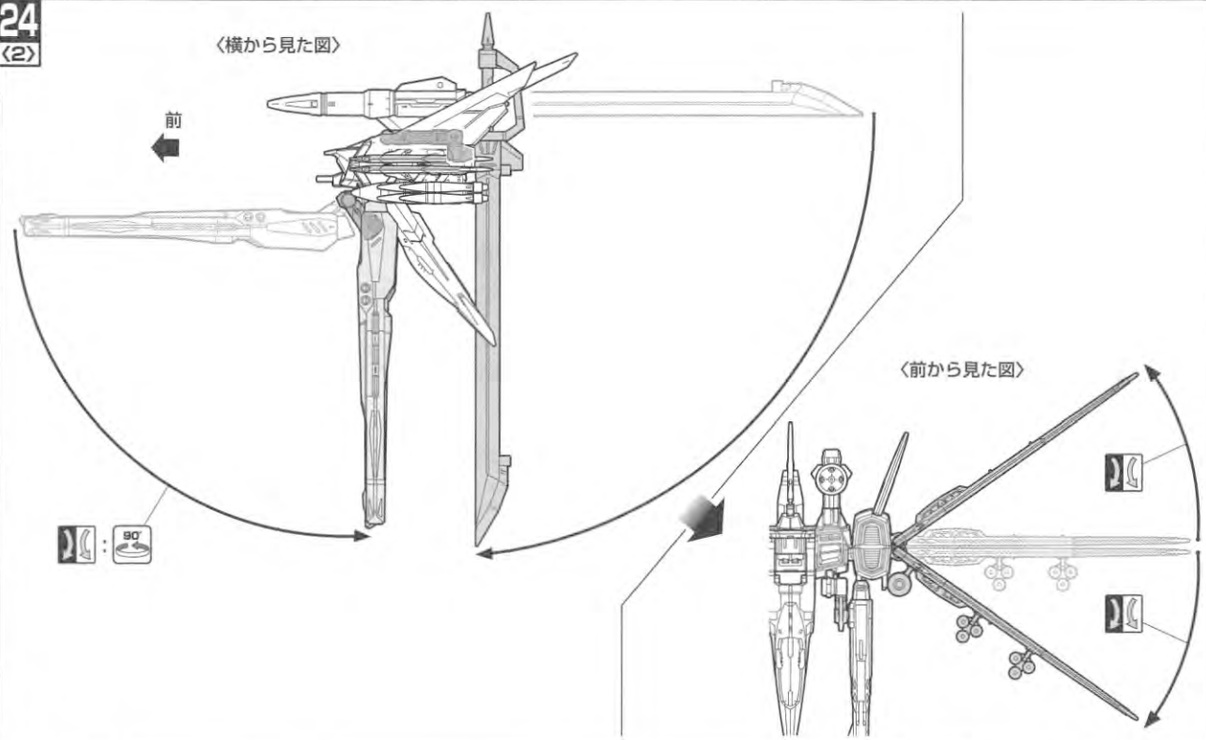




## 24 〈オオトリの装備〉
〈1〉

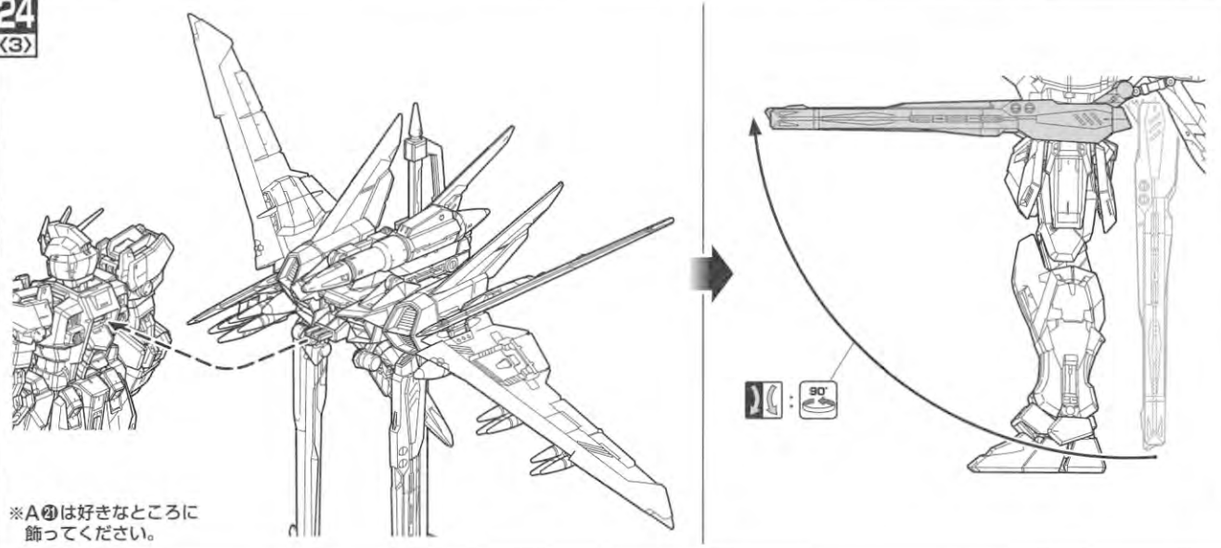
※ディスプレイ・スタンドは外しておきます。




## 24
〈2〉

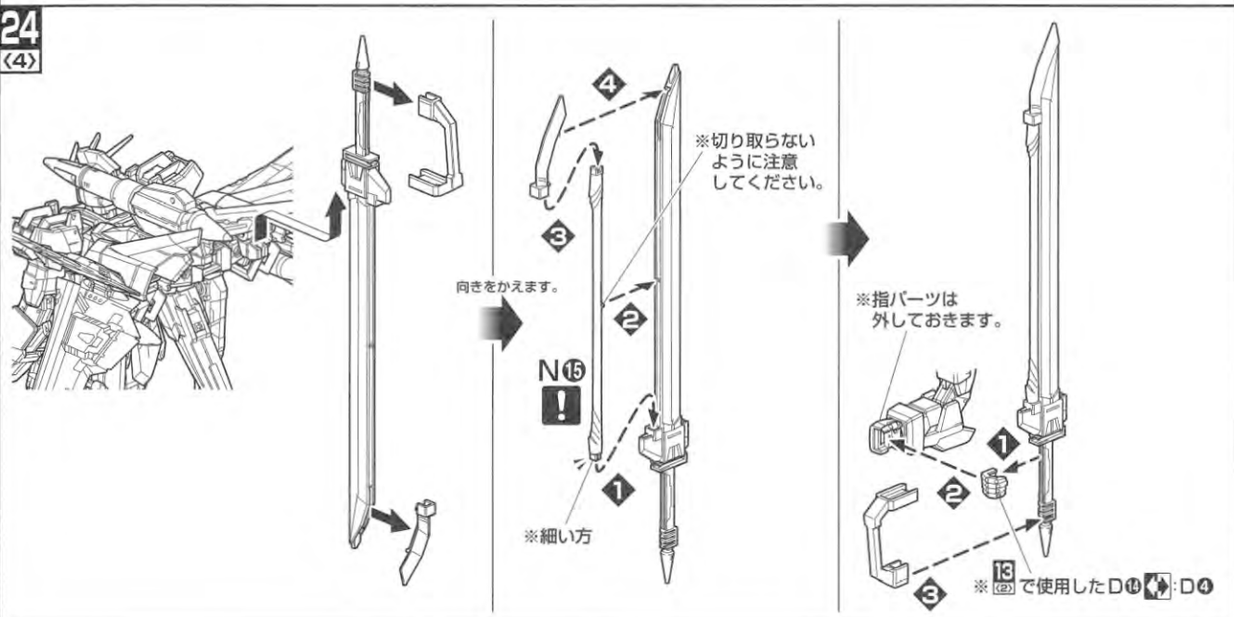


## 24 〈3〉



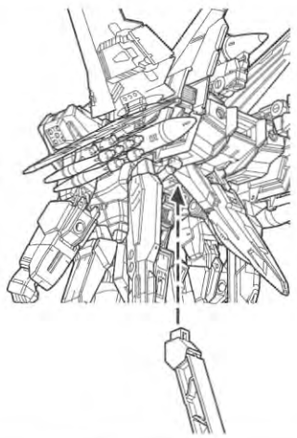

※A㉑は好きなところに飾ってください。

## 24 〈4〉






※画像の完成品は塗装してあります。





※組立図中の記号説明

| | | | |
|---|---|---|---|
| 両側を同じように動かす | 数値に合わせて回転させる | 向きに注意して組み立てる | 反対側に取り付けるパーツ |

## Seal

〈シール〉 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

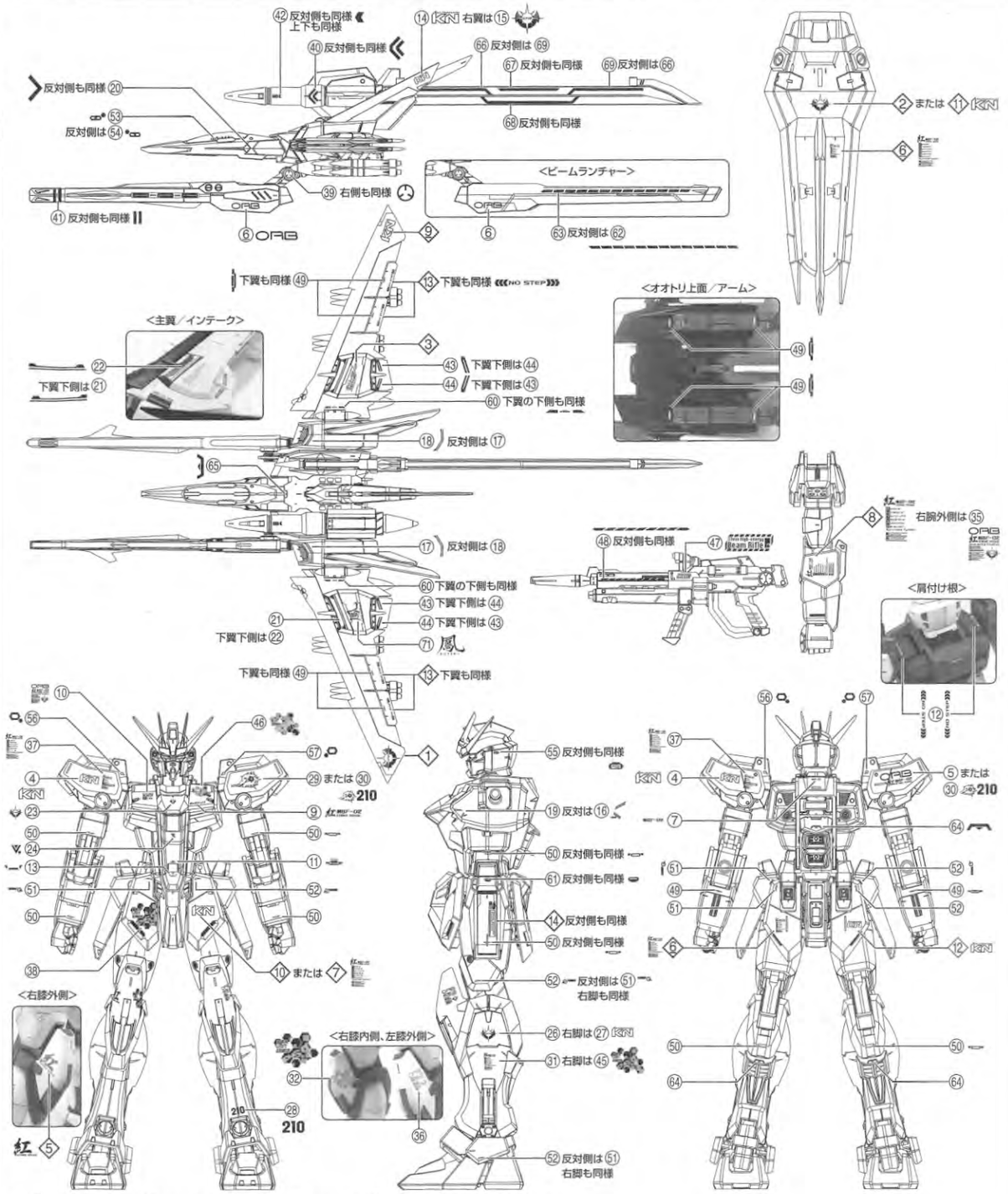
マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。
【例】①・・・・・マーキングシール　◇①・・・・・ガンダムデカール

### 【ガンダムデカールの貼りかた】

※P3のガンダムデカールの貼り方を参考にあせらずゆっくり貼ってください。

1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのものです。貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。




※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。